

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	一般社団法人 劇団前進座
公演団体名	一般社団法人 劇団前進座

内容
<p>日本固有の演劇で、伝統芸能のひとつであり、世界無形文化遺産に登録された『歌舞伎』を身近に感じていただくために、歌舞伎の歴史を学習・体験していただきます。</p> <p>①歌舞伎の歴史・成立ちについて写真などを用いて解説 * 400年以上前に発祥した歌舞伎は、長きにわたり工夫され現代に息づいています。</p> <p>②歌舞伎の立ち廻りの実演・解説 * 普段テレビや映画の時代劇で目にする殺陣とは、少し違います。型にそれぞれ名前があり意味があります。その組合せで歌舞伎の立廻りは成り立ちます。</p> <p>③女方の解説 * 歌舞伎では、女性の役を男優が演じます。</p> <p>④見得の体験 * 歌舞伎独特の演技方法、「見得」は映像でいうクローズアップです。</p> <p>⑤立廻りの体験 * 実際に身体を動かして、歌舞伎の立廻りを体験していただきます。</p> <p>※コロナ対応版</p> <ul style="list-style-type: none">・参加生徒が100名以下になるように、参加人数の調整を行います。・立廻りの体験は、正面を向いて型の習得をしていただき、対面では実施は控えます。・代表生徒の発表のみ、向かい合う形を取り、対面時間は15分以内とします。・立廻りの刀の管理は、個人の物がわかるようにします。

タイムスケジュール（標準）
授業時間の3時間目～4時間目または、5～6時間目に体育館で実施。 開始1時間30分前に学校到着。30分前に会場入り。終了後、移動。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
4名 主講師：1名 補助講師：3名

学校における事前指導
事前指導は、特に必要ありません。 ※学校の備品をお借りします。 ※立廻り用の刀は生徒さんに新聞紙で作成いただきます。

演目解説

あらすじ

■伏見の里 雪の場

いまから800年ほど昔。世の中は源家と平家に別れて争っていました。源義朝の妻、常盤御前は、わが子牛若丸を連れて逃げているところを捕えられてしまいます。しかし、平宗清は、情けをかけて母子を逃がしてやるのです。

■五条橋 月の場

それから、何年か後、京の都に美少年が夜毎に五条橋に現われ、早業で人の刀を奪い取るとの噂が流れていました。実はこの少年こそ、牛若丸。噂を聞きつけた、武蔵坊弁慶は、懲らしめる為に牛若丸に斬りかかりますが、降参し、二人は主従となります。

■鞍馬山 花の場

その後も、鞍馬山で剣術の稽古に励んでいた牛若丸は、大天狗僧正坊から、平家に打ち勝つための兵法書の一巻を与えられます。その一巻を手には弁慶を伴い、勇躍して陸奥へと旅立つのでした。

・この作品は、前進座の創作歌舞伎であるが、単なるオリジナルではなく、日本舞踊『橋弁慶』や歌舞伎の古典に発想を得、様々な役柄や、舞踊、立廻りなど歌舞伎の魅力をふんだんに盛り込み、歌舞伎を初めて観る児童生徒や先生方も楽しめるよう、伝統を継承しつつも発展的な作品となっています。

・本編『牛若丸』の前段に、歌舞伎の解説・入門編『歌舞伎の楽しさ』を併演し、初めて歌舞伎と出会う子どもたちにとって、少しでも歌舞伎が親しみやすいものになるように、子どもたちの興味を引き出す構成となっています。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

『歌舞伎の楽しさ』では、歌舞伎での音楽の紹介や、立廻り・付け・見得などを紹介します。生徒の代表に舞台に上がっていただき、出演者と共に、事前のワークショップで体験した「立廻り」を実演していただきます。また、参加生徒全員で、見得を体験、大向うの掛け方などレクチャーし、声を出していただきます。

※コロナ対応版

・「大向う」は客席から声を発していただくため、割愛します。

児童生徒とのふれあい